



議会だより

2011.8  
vol.31

# ふじかわぐちこ



ハ木崎公園のハーブ

- こういうことを決めました 2~3P
- 代表・関連質問 4~9P
- 一般質問 10~11P
- 委員会レポート 12~14P
- 先進地視察 15P
- 窓・編集後記 16P

こういふことを  
決めました！



## 第2回(6月)定例会

議場風景

5人の議員が熱弁をふるう!  
生中継がスタート!

第2回定例会は6月7日に開会され、会期を14日までの8日間と決め、会期の中ほどで総務、文教社会、産経土木の3つの常任委員会が開催された。本会議、各常任委員会とともに活発な審議が行われた。

6月の定例会から、ケーブルテレビによる生中継が開始され、緊張のなかにもいつになく力のこもつた質問と答弁が行われた。

初日に提案された16の議案のうち、10の議案がそれぞれ関係する常任委員会に付託されて審議され、多くの質問があつたが、すべてが原案通りに可決された。

最終日には、「議会改革推進特別委員会の設置」が、全議員の意志により議題として出され、設置することに決定した。

この特別委員会の設置により、町民の皆さんにさらに開かれた議会を目指すこととなつた。

### ●予算の繰越しの報告

予算の23年度繰越しは10の事業であり、総額1億3,914万円となった。

### ●条例の一部改正（4件）

- ・国民健康保険税条例の一部改正（税の最高限度額を50万円から51万円にするなどの増額）この議案については、1人の議員が反対したが、賛成16人で可決した。
- ・国民健康保険条例の一部改正（出産育児一時金の35万円から39万円への増額）この議案は全員賛成で可決した。
- ・職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正（東日本大震災の支援活動を行う場合の特別休暇の日数の増加）この議案は全員賛成で可決した。
- ・税条例の一部改正（東日本大震災に係る雑損控除額の特例）この議案は全員賛成で可決した。

### ●町道の路線認定（1件）

- ・本栖上の原地区の道路整備を行うため、「本栖上の原線」として町道の認定を行うもの。

# 一般会計補正予算 1億8,113万円の増額補正

## 一般会計補正予算

補正予算（第3号）は、1億8,113万円の増額補正である。この補正により、今年度の予算は歳入歳出ともに、108億5,884万円となった。

補正の主なものは、次のとおり。

・町道乳ヶ崎線新設改良工事	6,618万円
・小立地区区画整理事業地内の土地取得	4,000万円
・災害対策消防費	2,235万円
・精進諫訪神社屋根修理補助金	600万円

## 特別会計補正予算

- ・船津財産区特別会計補正予算（第1号）24万円の増額補正（船津少年野球団のユニホーム購入補助）
- ・小立財産区特別会計補正予算（第1号）49万円の増額補正（小立少年野球ユニホームの購入補助）
- ・精進財産区特別会計補正予算（第1号）100万円の増額補正（諫訪神社屋根の補修のための補助に当てる一般会計への繰出金）
- ・介護保険特別会計補正予算（第1号）1,843万円の増額補正（船津上ノ段中公民館を介護拠点とするための施設整備交付金）

## ■臨時議会■

4月27日に召集され、商工振興災害対策貸付金条例の制定、一般会計補正予算の審議と、鳴沢・富士河口湖町恩賜権有財産保護組合議會議員と、河口湖南中学校議會議員の選挙が行われた。

選挙の当選人は、次のとおりである。

### 鳴沢・富士河口湖町恩賜権有財産保護組合議會議員

渡辺 喜久男	渡辺 元春	小佐野 操
梶原 武	渡辺 余緒治	小佐野 真一
梶原 義美	宮下 明夫	渡辺 正勇
小川 清治	古屋 勝美	渡辺 晴夫
古屋 一哉	倉沢 鶴義	

### 河口湖南中学校組合議會議員

渡辺 晴夫

(以上、敬称略)



恩賜林組合

知りたい！  
聞きたい！



## 富士河口湖町の防災対策を問う



東日本大震災の対応の様子

質問 3月11日に発生した東日本大震災を受けて、町民の安心安全の確保のため、次の3点について問う。「当町と笛吹市との防災協定はどうなっているのか」「防災無線が聞き取れない地域があるが、個別受信機の配布の考え方があるか」「自主防災組織の育成と町の備蓄食料はどうなっているか」

管理課長 地形的に考えても笛吹市との協力・連携は必要である。防災担当課との間ではすでに協議を進めており、早期に協定締結につなげていきたい。

## 親樹会

だいひょう・かんれん  
**代表・関連質問**



親樹会 代表質問者  
**三浦 康夫**

## 東日本大震災の影響について問う

質問 東日本大震災に対し当町で実施した対策について、その効果と現状は。

政策局長 東日本大震災により亡くなられた方のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々に対しても心よりお見舞いを申し上げます。

町では、4月の臨時議会で被災者受け入れに対し3千576万3千円の予算を確保し、宿泊施設や学生用アパートでの避難者の受け入れや勝山小中学校への通学などを実施している。山梨県町村会から職員派遣の要請があり、保健師1名を5日間派遣する予定。

防災無線は新たに5箇所へ無線機を設置することとしており、6月補正に計上している。個別受信機については、周波数の調整などで受信能力の改善に努めたい。自主防災組織については、各家庭での備えと共に自主防災活動は必要であると考える。各自治会に組織立てていただきたい。備蓄食料は町内7地区の備蓄倉庫に備蓄している。

関連質問（渡辺元春） 笛吹市との協定について具体的な計画と目標は。

管理課長 避難者や児童、生徒の受け入れ、食料飲料水の提供、職員の派遣などを考えており、7月中をめどに考えている。

関連質問（梶原武） 飲料水メーカーや輸送機関との協定を考えているか。

管理課長 近隣市町村の飲料水メーカー1社と協定を進める予定でいる。

関連質問（外川正純） 外国人観光客の落ち込みが顕著であるが、中国等へのトップセールスの予定は。

町長 海外誘客には積極的に取り組むべきだと考える。

関連質問（渡辺余緒治） 健康科学大学による被災地への介護支援活動についてわかる範囲で説明を。

政策局長 5月から7月末まで陸前高田市の要請により介護老人保健施設への医療介護を中心に支援している。

## Q3 行政組織改革を問う

質問 昨年度から今年度にかけて多くの課長が退職された。住民生活に迷惑をかけないためにも付け焼刃の対策ではなく、役場の機構改革について検討するべきではないか。

町長 財政の厳しい中でもあるが、職員数の見直しなど、付け焼刃的な対策ではなく本質を変える必要がある。行政改革推進本部および事務合理化委員会で引き続き検討する。

関連質問（高山泰治） 職員の仕事の評価はどのようにしているか。

町長 人事評価制度により、各職員に年間目標を掲げさせ、その成果により評価している。

関連質問（渡辺余緒治） 各職員が緊張感を持つて仕事をしているか。仕事に対する評価は的確に実施されているか。

総務課長 職員の質の向上については、課長補佐、係長級からなる推進委員会でも検討を進めている。

## Q4 指定管理者の取り組みを問う

質問 多様化する住民ニーズに対応し、効果的に公の施設を管理運営することが必要である。各公共施設について指定管理者の検討状況は。

政策局長 本年3月議会で河口湖ふるさと振興財団および社会福祉協議会に9施設を指定管理することが承認され、1年間の管理運営を委託した。他の施設も含め、4月から改めて指定管理制度の方について検討している。



河口湖美術館（指定管理施設）



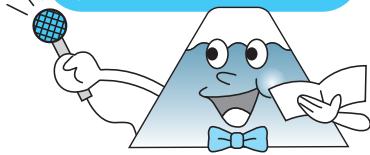
新宿での観光PR

## Q5 ふるさと納税の推進について問う

質問 富士河口湖町へのふるさと納税について町の取り組みは。

企画課長 平成20年6月より条例を施行しており、寄付を受け入れている。ご寄付いただいた方には、一町民カレンダーや広報誌などをお送りし、感謝の気持ちを表してきた。特産品の贈答などについて効果なども含め府内プロジェクトで検討していく。

知りたい！  
聞きたい！



# 大震災後の観光施策はQ1

**質問** 我が町も大震災後観光客が落ち込んでいると聞くが、町は大阪・名古屋方面に観光キャラバンに行つたようだ。自肃ムードや風評被害は相当あつたと思うが、対策があるか。

**町長** 風評被害を払拭するために町の安全な情報を伝えること、町の元気さを発信するイベント告知が大切である。

特に、教育旅行に関しては、旅行会社が誘客しやすいよう、各府・県及び市町村の教育委員会、学校に対し、山梨県及び富士河口湖町の安心・安全が伝えられる山梨県知事及び町長名の文書を渡し、来年以降の送客をお願いした。

**再質問** 当町の今後のインバウンドに対する振興策は。

**観光課長** 山梨県知事のトップセールスが、本年、タイ、シンガポールで予定されている。町長もしくは副町長が同行できればと考える。

**関連質問（井出總一）** 東日本大震災で観光立町の当町も大打撃を受けていた。観光立て直しについて、どう検討をしているか聞く。

**町長** 積極的に仕掛けていくことが大切だ。

まずは情報発信をする。それにはイベントの告知と合わせた宣伝活動、時には私も一緒に行動をともにしたい。

## 清友クラブ

だいひょう・かんれん  
**代表・関連質問**



清友クラブ 代表質問者  
**梶原 義美**

**関連質問（井出總一）** 災害発生時の観光客の避難対策のマニュアル等があるか。

**観光課長** 観光課には、3日以内の観光客の避難誘導や情報提供、また帰宅支援対応が求められる。具体的なマニュアルは作成してないので、管理課と協議して作成したい。

**関連質問（駒谷隆利）** なぜわが町は各イベントの縮小及び中止を決めたのか。

**町長** 当町のイベントは続行していくという基本姿勢で当初から臨んでいた。行政主体ではなく、地域の方々が主体のイベントでも、何とか実行しようという意思伝達はしたが、地域の皆さんとの総意で、やむなく中止や縮少したと認識している。

**災害時の高齢者避難は**

**質問** 高齢者避難や独居高齢者の災害時の対応はどのように進めているのか。

**福祉推進課長** 災害時には、特に要支援

高齢者や要介護高齢者、ひとり暮らし高齢者及び障害者を含めた要援護者への避難支援が必要とされる。町では、災害時要援護者支援マニュアルを作成したが、実際に活用するには、今後、いくつかの取り組みが必要となるので、健康増進課と連携してこの事業に取組み、災害時の避難対策を進めていきたい。

**再質問** 災害時に医師会等と災害協定を結んでいるのか。

**福祉推進課長** 県災害対策本部を通じ、相互協定に基づき、全国知事会として医師等の派遣を要請することになつていて。町と医会では特に協定を結んでいないが、対応はできるものと考えている。

**関連質問（井出總一）** 備蓄倉庫は町内に7カ所あるということだ。各自治会かららの地区公民館に備蓄倉庫を、という要望に対し、どう考えているか。

**管理課長** 公民館等は、数が多いので備蓄品の管理等に相当問題が出てくると思われる。現段階では考えていない。

**関連質問（渡辺 洋）** 役場が被災した場合の対策をどのように考えているか。

**管理課長** 万が一本庁舎に被害があつて機能が果たせない時は、対策本部設置場所の順位が設定されている。

役場を第1位として、第2位が勝山ふれあいセンター、第3位が足和田出張所となつていて。

# Q3

## ライフラインである上下水道の耐震化は

**質問** 上水道の耐震化率は山梨は4・5%で、我が町はもっと低い。その対策としての施工方法や耐震化率を上げるための工程を聞く。

**水道課長** 当町の上水道の耐震化率は約4%で、極めて低い数字である。

先般策定した地域水道ビジョンの中で、平成32年度までに、上水道で老朽管等約25キロのうち80%程度、簡易水道は、老朽管約40キロの50%程度の布設換え工事を施工し、あわせて重要施設への配水管の耐震化や送水管の耐震化を、平成24年度以降、財源を確保しながら、計画的に実施していくことが明記されている。これにのつとり、平成23年度に、耐震化事業実施計画を策定し事業化していく。

**再質問** 当町所有の配水池の中には、相当古い建物もあると思う。配水池及び関連建物の耐震診断を行ったことがあるか。

**水道課長** 現在まで耐震診断は行われていないが、小立地区の新大堀配水池、勝山地区東下大砂配水池、勝山地区西蛇石配水池、大石地の若彦配水池のPCタンク4カ所については、耐震強度は確保されている。

関連質問（渡辺洋） 水道事業の中で、今回問題にされている耐震化の優先順位はどうか。

**水道課長** 水道事業の主な課題は財政と耐震化であると認識している。



水道工事

**質問** 都市計画マスター・プランでは、計画実現に向けて、町民を主体に、事業者、行政との協働によるまちづくりを推進するとしているが、現在、協働のまちづくり作業は始まっているか。

**都市整備課長** 協働のまちづくり作業は、具体的にまだ始まっていない。

**再質問** 協働によるまちづくりは、いつからどのような形態で始めるのか。  
**都市整備課長** 昨年度から景観計画作業に取りかかっている。

# Q4

## 「都市計画マスター・プラン」での協働のまちづくりは

**質問** 道路予算の確保が難しくなる中、船津登山道線、本栖上ノ原線延伸や当町の幹線道路整備を今後どのように進めめるか。

**町長** 船津登山道線、本栖上ノ原線延伸等の補助金は、今後、社会資本整備総合交付金を確保し進めていきたい。道路整備を計画するに当たり、地区住民の総意であることと地域の地権者の同意が得られることを前提として計画を進める必要がある。住民の総意と協力が必要になつてくる。

知りたい！  
聞きたい！



# 一般廃棄物処理基本計画の見直しとは

**質問** 町の一般廃棄物処理基本計画の見直しをすると言っているが、ごみ処理、生活排水処理をどのような方向に持つていくのか、基本姿勢を問う。

**環境課長** リデュース（減量）リユース（再使用）リサイクル（資源化）の3Rを行政及び各種団体の協力を得て機会あるごとに住民にPRをしていく。

**再質問 指定ごみ袋の値上げと可燃ごみ収集の値上げの考え方があるか。**

**環境課長** ごみ袋は値上げせずに事業系ごみの単価の見直しの研究を進めていた。

**再々質問 合併浄化槽に対する補助金の制度があると認識するが、下水道認可対象エリアとエリア外との線引きはどのように考えているか。**

**環境課長** 区域外についての浄化槽の設置は補助金制度に該当しない。

**関連質問（堀内昭登） リサイクルセンターを活用した中で、3R運動を具体的に今後どのように展開していくのか。**

**環境課長** 分別することで資源はリサイクルされる。今後もリサイクルを継続をしていきたい。

**関連質問（渡辺喜久男） 不燃物の分別収集を徹底するために、船津地区の七軒町3丁目、4丁目、南台1・2丁目では**

## 富陽の会

だいひょう・かんれん  
**代表・関連質問**



富陽の会 代表質問者  
**小川 清治**

**再質問** 日赤病院の前院長の斎藤先生が行っていたような形式で日赤病院にその点を依頼してみたのか。

**政策局長** 健康科学大学のリハビリテーションクリニックと今協議をしているところである。赤十字病院とはこの件については協議、相談はしていない。

**関連質問（渡辺喜久男）** これから地元のために町長が健科大並びに日赤等のように交渉していくのか再度聞く。

**町長** 健康科学大学の協力を得ることが一番良いという考え方で進めている。

**関連質問（渡辺喜久男）** 健科大のクリニックへお願いしての診療所の開設ということだが、健科大の考え方を察するに、もう若干補助金の上乗せがなければ開設は無理だということか。

**政策局長** 当初の補助金の中で協議を進めている。現時点はその件についてお知らせする段階ではない。

**関連質問（倉沢鶴義）** リハビリクリニックと協議中ではなく、何月何日にどういうことができるのかはつきり表明してほしい。

**町長** 方向としては間違いないなくその取り組みをしていく考え方である。

**質問** 富士ヶ嶺地区に再度、診療所を開設する考え方であると言うが、その基本的な考え方を聞く。

**政策局長** 現在、健康科学大学や関係機関と協議を行っている。開設時期については協議中で、本年度の後半以降となる見通しである。

# 代表・関連質問

9

議会だより  
ふじかわぐちこ

## Q3

### 自治基本条例策定の委託先は



現在は閉鎖されている富士ヶ嶺診療所

町長 この重要な条例制定は、決して業者へ丸投げしてつくるものであってはならない。どこの業者に委託するのか、成品になる過程でどのように町の意図するところを出し、制作過程にいかに町が深く関与していくのか、基本姿勢を聞く。

町長 法制度や条例などに熟知し、町の状況をより理解するコンサルタントを選定していく。計画の段階から町民が参加する住民検討委員会を立ち上げたい。条例制定には2年間の作業になると思う。

再質問 住民投票制度をどのような形でこの条例に組み込むのか聞く。

農林課長 農業振興地域の整備に関する法律に照らし合わせ、県と事前協議等を行い、除外要件に適合する案件のみを同意を受け入れる。県は農業振興地域整備計画基本方針に基づき町に対し協議の内容の妥当性を確認し、回答を出すと定められているので、これに基づき早期に除外できるよう公告縦覧手続を進めている。

再質問 指定解除の最終決定権は市町村

町長 現況ではこのようにしますということを決めていない。

関連質問（渡辺喜久男） 町民が見て町長の言う住民目線がここに出ている、という表現またその考え方をどう条項の中へ織り込んでいくか。

総務課長 検討委員会を立ち上げ、その細部でワークショップを幾度となく開催し、そのような条項も含めて検討していく。そのような条項も含めて検討してみたい。

## Q4 農振地域の見直しをせよ

質問 町の新しい考え方として、町全体で各地区の農業振興地域整備計画と、それに基づく線引きの見直しを実施するべきだ。農振除外申請や開発の申請に対し、どのような基準で除外の判断をし、県の意見書の位置づけをどのように扱っているのか。

農林課長 県が農用地の農業振興上の必要性や農業振興地域の整備に関する法律の規定に基づく除外要件と照らし合わせ、同意したものだと思う。今後も除外については公正かつ厳正に対応したい。

再質問（堀内昭登） 農振地区の見直しを行い、身近で多くの可能性を持つ産業資源である土地を総合的に活用する考えがあるか町長に聞く。

町長 農業振興地域の整備計画等は、平成24年の10月に見直しをする予定である。その機会に健全な農業の発展と、土地の有効活用など様々な角度から、見直し時期に改めて構築するべきだと考える。

○他の質問  
森林環境税について

長にあると認識している。除外に関する1年ごとの見直しが可能とも言われているが、最終決定権を持つ町長の考えを聞く。

町長 法令に基づき順序を踏むことが必要だ。除外申請が出たら法令をベースにできるだけ意が酌めるような方法で取り組む。

関連質問（堀内昭登） 農振地区が虫食い状態で開発され、除外されている人と格差が生じているということはどうなことか、担当課長に聞く。

# 知りたい！ 聞きたい！



# 「被災者支援システム」の導入を急げ

質問

災害発生時に、行政のすばやい対応が不可欠である。被災者の氏名、住所

者証明の発行などを総合的に管理する「被災者支援システム」を平時のうちに構築していくことが極めて重要である。又、

防災・防犯情報の富士河口湖町安心安全メールの普及を。

**企画課長** まずは町の防災計画に基づく  
防災体制をしつかり確立し、当システム  
の有効性については、十分認識している。  
防災担当を中心に関係部署と連携のもと、  
調査検討を進める。

7月の広報に掲載し、携帯電話で読み取るような仕様のものを載せて、皆様にどしどし登録していただきたい。

# 公立学校施設の防災機能 向上をはかれ

質問 大規模地震等の災害発生時、学校施設は地域住民のために応急的な避難所となる。通信整備の充実や洋式トイレの整備、必要物資を備蓄するなど、避難生活に必要な諸機能を備えることも求めら

**避難訓練の見直しと要援護者の避難支援を実施せよ**

質問 每年行われている避難訓練について、訓練内容の見直しなどは検討しているか。

昨年の12月の議会で要援護者支援マニュアルと、要援護者カードの作成もお願ひした。福祉避難所の指定は進んでいるか。また、要援護者を巻き込んだ避難訓練の実施を検討しているか。



一般質問者  
佐藤 安子

管理課長 れている。  
体育館については、避難施設設

として校舎と一体となつた利用を考えフ  
アクセス、電話、テレビ等の機器及びトイ  
レ等を非常時には利用していく。防災備  
蓄倉庫は、学校の敷地内や学校近くの福  
祉センターへ設置されている。地域防災  
計画では、NTT、東京電力等と協力し  
防災活動に当たることになつてゐる。

## ○他の質問

### 災害時の姉妹都市提携が大切

**管理課長** 次回の防災訓練等で新たな訓練の内容については検討をしていきたい。  
**福祉推進課長** マニュアルに時間がかかる。要援護者カードは作成したが、福祉避難所の選定については、今後関係機関とさらに協議して取り組む。防災訓練は隣組や自治会などで声かけをして、避難できる方は近くの避難所までともに避難するなど、取り組みを進めていきたい。



### 水防訓練のようす

議会だより  
ふじかわぐちこ 10

# 一般質問 いっぽん

質問 町内9か所に設置してある防災備蓄庫。足和田地区においては、長浜の

## Q2 防災備蓄庫の増設を

福祉推進課長 船津、小立の両保育所では、長期の停電時に断水になる。それを解決するための水道管工事を行う予算を今議会に提出した。

学校教育課長 災害時の停電対策として、給食施設用の発電装置を備えることがのぞましい。今後検討する。

## Q3 富士豊茂小体育館の耐震化を早急に

保育所の断水対策は、今議会の補正予算で対応

質問 停電時に、断水などが原因で、保育所や中小学校の給食が停止となりお弁当持参に。保護者の負担になつた。災害時には炊き出しの拠点となる。自家発電機の購入などの対策を。



一般質問者  
**山下 利夫**

1か所のみである。住民説明会でも要望が出されたが、増設すべきでないか。

## 西湖周辺に増設を検討する

管理課長 地形的状況を考えると、西湖周辺にもう1か所設けた方が効率的であるので、今後検討したい。

水道課長 今後10年間の水道事業計画を示した水道ビジョンを策定した。これにもとづき、老朽管の更新などに、計画的に取り組んでいく。

そのための財源は、原則として料金改定によってまかないたい。一般会計繰り入れは、法律や総務省によつてその基準が決められており、増額はいまのところ難しい。

○他の質問  
防災無線の改善と「防災ラジオ」普及の検討を

学校教育課長 県の学校施設課と相談しながら、早期の耐震化に向けて、検討に入っている。

## Q4 水道料金の値上げはできるだけ抑制を

質問 町の水道ビジョンは、町内の水道の4割から5割の漏水が考えられ、その解決のために老朽管を計画的に更新していく、としており、歓迎する。

そのための財源として、同計画では、上水道の料金値上げについて触れている



船津地区自主防災訓練のようす

常任委員会の活動状況を報告します。

# 会員レポート

## 所管全般質疑

**質問 住宅用火災報知器の設置が義務化されたが、現在の設置状況と設置の促進方策は。**

**管理課長** 今年の6月1日から設置が義務化されたが、アンケート調査では設置済が40%で、義務化を知らない人が50%にのぼっている。これは、周知不足が原因で、富士五湖消防本部や地域の消防団と協力し、設置を促進していきたい。

**質問 現在は、各課の輪番制で電話交換業務を行っているが、取次ぎに時間がかかるなどスムーズな取次ぎができるない。専属の交換手を配置したらどうか。**

**総務課長** ご指摘のような問題があることは承知している。住民サービスの面から電話の対応は重要だと考えているので、早い時期に電話交換手を配置したいと思う。

**質問 本年度からコンビニ税納付が始まつたが、納付状況はどうか。**

**税務課長** 軽自動車と固定資産税でみると、コンビニ納付率は約20%（4600件）あつた。これは想像以上の件

**質問 住宅用火災報知器の設置が義務化されたが、現在の設置状況と設置の促進方策は。**

**管理課長** 今年の6月1日から設置が義務化されたが、アンケート調査では設置済が40%で、義務化を知らない人が50%にのぼっている。これは、周知不足が原因で、富士五湖消防本部や地域の消防団と協力し、設置を促進していきたい。

**質問 現在は、各課の輪番制で電話交換業務を行っているが、取次ぎに時間がかかるなどスムーズな取次ぎができるない。専属の交換手を配置したらどうか。**

**総務課長** ご指摘のような問題があることは承知している。住民サービスの面から電話の対応は重要だと考えているので、早い時期に電話交換手を配置したいと思う。

**質問 本年度からコンビニ税納付が始まつたが、納付状況はどうか。**

**税務課長** 軽自動車と固定資産税でみると、コンビニ納付率は約20%（4600件）あつた。これは想像以上の件



火災報知器

**財政係長** 現在6月なので、普通交付税及び特別交付税については国から正式な通知が届いていない。状況をみながら財政の構成をしていきたい。

- その他質問
- ①消防団員確保の推進のため特典を考えたら
- ②町民への予算説明にの更なる充実は
- ③フロアマネージャーを廃止した理由は
- ④富士山世界文化遺産登録の今後のスケジュールは
- ⑤増加する税の滞納対策は
- ⑥職員の資質向上方策は
- ⑦本年度の採用職員及び管理職登用試験受験者の男女の別の数は

数であり、24時間納付可能という特性が納付件数の増加につながったと思う。

**質問 自主防災機能の拡充のための、未自治会加入者に対する防災方策は。**

**町長** 自治会への加入率を上げることは本当に必要だと思うが、問題はどうすれば上げられるかである。自治会や育成会の行事に、自治会に入っている子どもは参加しているケースもあるので、多くの人に呼びかけて体制作りをしていきたい。

**質問 大震災後、震災による特別交付税、普通交付税の減額が予想されると思うが。**



**質問** 企画課により町のメールマガジンが発信されているが、当町の予定や催し物、あるいは町長の行動表などが記載されており、とても役に立っている。生涯学習課もメールマガジンをつくつたらどうか。

**生涯学習課長** 諸事業を実施するにあたり現在、関係者等に連絡、通知をしている。それ以外にも広く周知するためメーリマガジンも必要かと思われる所以今後検討したい。

**質問 特養ホーム建設の進捗状況は。**

**健康増進課長** すでに事業者は12月に決定され、事業者によつて開発行為等、各種手続が進められている。7月、8月ぐらいに着工し、平成24年4月オーブンの予定で計画は順調に進んでいる。

**質問 富士山河口湖音楽祭2011は、開催10周年記念ということで、すばらしい企画があるが、音楽祭に向けての震災への影響は全くなないか。**

**文化振興局長** 大地震の影響で停電が懸念され、イベント縮小という話もあつたが、現在は当初の計画どおり実施する方向である。節電のために終了時間を午後6時とする計画である。

**質問 当町の保育所、小・中学校校庭の放射線量の測定はどのように行つてあるか。**

**学校教育課長** 管内の小・中学校の放射線量は現在調べていない。  
**福祉推進課長** 町内の保育所の放射線量もまだ調べていない。

**質問 北中の1、2年生の必須科目の水泳教室はどのように実施しているか。**

**教育長** 昨年も使つたが、町民プールを利用して実施している。

**質問 北中学が建つている場所はかつて沼地だったので、地震による液状化現象が非常に心配される。ここを耐震診断したらこのような土地になつります、ということを発表してあるか。**

**学校教育課長** 学校教育課では平成18年に地質調査をしたが、液状化している部分はなかつた。しかし東海地震などで震度7程度が想定されると、確實に液状化しないということは言えない。もう一度業者に確認をしていきたい。

**質問 富士豊茂小学校体育館の耐震化が議題に上がつていて、その進捗状況は。**

**学校教育課長** 富士豊茂小体育館は、I S 値0・14で、崩壊・倒壊する危険性が大きい建物であり現在使用を禁止している。不適格な建物なので早期に耐震化をしていかなければならない。県とも相談し、検討していく段階である。

**質問 図書館のフロアを、人が歩いているか。**

**教育長** 子どもたちは仲よくやつて、受け入れ側も非常に気持ちよく受け入れていると聞いている。一番心配していたカヌーの対応だが、本当に気持ちよく子供たちがやつてている。バドミントン部は6月で廃部になるが、今、問題ないと聞いている。

**質問 本年、上九一色中学校が勝山中学校へ統合されたが、生徒たちは順調に学校生活を送つているか。**



生涯学習館(町立図書館)内のように

## 特別会計・一般会計

# 3 産経土木常任委員会

**質問** 一般会計から水道会計への繰入金というのはどのような基準で繰り入れているのか。

**水道課長** 総務省の通知に、地方公営企業の繰出金というものがある。この中に繰り出し基準内の繰出金、繰り出し基準外の繰出金ということで示されているので、それに従つて一般会計からの繰り入れを行つている。

**質問** 今までこのバイオ施設に修繕であるとか修理代というのは、どのくらいかけているのか総額を聞きたい。

**農林課長** 平成21年度に合計2千833万8千円、平成22年に1千785万円をかけ施設の修理を行つた。

**質問** この施設は、旧上九一色時代に家畜リサイクル法が制定されたために建設されたと認識しているが、現在その家畜リサイクル法に反する野ざらしされている糞尿の山積みはないか。

**農林課長** すべてが法律に適合しているというわけではない。簡易的小規模なものが一部にある。

**質問** 道路新設改良費の15工事請負費2千106万9千円は雨水対策費との説明があつたが、具体的にはどこを工事するのか。

**都市整備課長** 恋路西交差点を入つたところの右手の山林に工事の残地があり、そこへ排水池をつくるための用地買収と工事をするものである。

## 所管全般質疑

**質問** 富士河口湖町都市計画マスター プランの年次、また具体的な行動計画の策定は春なのか、また、マスタープランに沿つて実施し始めた項目はあるのか。

**都市整備課長** 現在は行動に移す前の段階である。したがつて地区ごとへの説明と景観計画を進めながら、マスター プランに移行していくこうと考える。

**質問** 大石地区では、農業と観光を組み合わせたような取り組みを活発に行つているが、他地区でもこのような取り組みはしているのか。また、今後そういうことを計画しているか。

**農林課長** 今後の計画では、生産組合及び地元のJAと協力しながら、新たな果樹栽培等の導入についても研究していくたいと考えている。

**質問** まちづくりカレッジが名物ランチを開発中であると新聞に載つていたが、これを具体化してホームページに載せるような考え方はあるか。

**観光課長** 今年は食事として提供できるものをいくつか提案し、皆さんにも食べていただいて、ご意見を聞きながら町の特産にしていきたいと考えている。

**質問** いやしの里の所長を年俸制をもつて公募していると聞くが、決まったのか。

**観光課長** 一度公募したが決定まで至らなかつたため、2次募集して選考を行い、いやしの里所長を決定させていたただいた。



大石のサクランボ

議員

活動報告  
ぎいん

# 先進地視察

秋田県仙北市  
秋田県小坂町

1日目・秋田県仙北市

ためのプロジェクトが各種計画され、当町もできる限りの応援と活発な交流を望む意見が双方から出されました。

5月25日から3日間、町議会議員の先進地視察を実施しました。

1日目は秋田県の仙北市を訪ね、「議会の活性化（議会基本条例等検証のための議会改革推進協議会の設置）」と「クニマス（国鱈）里帰りプロジェクト」を主に研修いたしました。

仙北市は田沢湖町、角館町、西木村の3町村が平成17年に合併し、人口約3万人の市となりました。

議会は市民の意思を代弁する合議制機関です。自らの創意と工夫でまちづくりを推進していく必要があります。住民に開かれた議会、住民参加を推進する議会を目指し、平成22年に議会基本条例が制定されました。その経緯を解説していただきました。

また、昨年西湖でのクニマス発見を契機に、クニマスのふるさとである田沢湖に里帰りさせる



秋田県仙北市 研修風景



2日目・秋田県小坂町

まちづくりに取り組む様子を説明されました。

今回の視察研修が活かされるよう、議員一人ひとりが議会のあるべき姿を改めて認識し、絶えず研さん励むことが求められていることを確認した研修がありました。

2日目の5月26日は、小坂町を訪問しました。

小坂町は昭和30年に小坂町と七瀧村が合併し、新生小坂町として誕生し、平成の大合併には加わらず現在に至っており、隣の青森県十和田市と接し、十和田湖の一部を有する人口6千人ほどの町です。

小坂町でも「議会基本条例の制定」と「議会主催の住民懇談会、議会報告会」の取り組みについて研修を受けました。

この条例は、町民の代表機関である議会のあるべき姿と、基本的な活動などを条文化したものが、行政の永遠の命題でもある「町の発展と町民の幸せの向上」を目的として制定されました。町民の声を町政に反映させるために各地区ごとに議会主催の住民懇談会や議会報告会を実施し、町民参加を基本とした特色ある



秋田県小坂町 研修風景

## 議会基本条例の制定への取り組みを学ぶ

## 今、想うこと

渡辺 幸子（小立）

ゲゲゲの鬼太郎で賑わっている鳥取県。山梨県も桃の産地ですが私の古里鳥取で、両親も桃栽培をしています。河口湖から少し走れば広がる一宮の桃畠、気候も似ています。嫁いで初めて迎えた冬、骨の芯まで感じる寒さに驚きました。踵が見事に硬く厚くなりました。

すぐに娘を授かりましたが泣き止まず、二人で泣きながら何度も河口湖を車で走つたものです。

「何をうつちやるでか？」

近所の方にかけられた言葉にも戸惑いました。

嫁いで、もう十三年が経ちます。それでも嫁いですぐには「都会の人?」と言われた私も、今ではすっかり「小立の人!」と言われます。

日々両親を想い、病の姉を想い、会えないもどかしさを感じながら、生活に追われています。

父と夫、娘と息子の五人家族です。私が穏やかだと子ども達も笑顔です。親としてではなく、一個人として対等な目線で話すと、子ども達もよく話をしてくれます。

パートに出ていますが帰りが遅くなることが多く、夕飯を待たせてしまうことが一番申し訳ないです。

いつ何が起きるかわからないので、家事はきちんと玄関で、を心がけています。きちんと玄関で、を心がけています。

私は幸せです。



## 新宿の熱い(暑い)一日

7月4日新宿で、オール富士河口湖観光キャンペーンを行いました。「暑いうちは、涼しい富士河口湖へ」のキャッチコピーの下、観光業者と町がひとつになり、100人体制でうちわやパンフレットを配布、議会からも5名が参加し熱い汗を流してきました。

新宿のみならず多くの駅でキャンペーンを行った観光業者の皆さん、その行動力と熱意に心から感謝申し上げます。この熱意がある限り富士河口湖町は大丈夫だと感じた一日でした。

新宿の暑さを体感し、「富士河口湖町の涼しさ」に改めて感謝します。参加された皆様、お疲れさまでした。

町議会議長 古屋一哉



議会を傍聴しませんか  
次の定例会は9月です。

どなたでも傍聴できます。議場入口で受付を済ませ傍聴してください。  
入口には注意事項が掲示されています。

6月の定例議会から、ケーブルテレビで本会議を生放送するようになりました。議会だより編集委員会では、町民の皆さんから議会を傍聴した意見・感想をお待ちしています。テレビを見て意見・感想をお寄せください。お寄せいただいたものは、「議会だより」最終ページの「議会見・聞・録」に掲載させていただきます。

編集後記

議会だより  
ふじかわぐちこ 2011.8 vol.31

発行□富士河口湖町議会  
編集□議会だより編集特別委員会  
〒401-0392 富士河口湖町船津1700 TEL 0555-72-3167